

【記載例】

(様式第1号)

※令和 年 月 日 受付

障害者控除対象者認定申請書

認定を受ける者（対象者）	(ふりがな) 氏名・性別	身体障害者手帳・戦傷病者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳などをお持ちではありませんか？	男・女
	生年月日	明治 大正 年 月 日 昭和	65歳以上ですか？ 満 歳
	住 所	〒 呉市 Tel () -	
該当項目の番号 いずれか1箇所に○を 付けてください	1 杖等を使用し、かつ時間がかかっても自分で歩ける。 2 付き添いが手や肩を貸せば歩ける。 3 歩行不可能（ねたきり）である。 3に○をつけられた方は必ず記入してください () 年 月以降継続		
該当項目の番号 いずれか1箇所に○を 付けてください	4 スプーン等を使用すれば自分で食事ができる。 5 スプーン等を使用し、一部介助すれば食事ができる。 6 寝たままで、食べさせなければ食事ができない。		
該当項目の番号 いずれか1箇所に○を 付けてください	7 自分で便所へ行くことができる。 8 誘導すれば自分で便所へ行くことができる。 9 介助があれば簡易便器でできる。 10 時々失禁する。 11 常に失禁する。		
該当項目の番号 いずれか1箇所に○を 付けてください	12 自分で入浴できる。 13 自分で入浴できるが、洗うときだけ介助を要する。 14 浴槽の出入りに介助を要する。 15 自分で入浴できないのですべて介助を要する。		
該当項目の番号 いずれか1箇所に○を 付けてください	16 自分で衣服の着脱ができる。 17 手を貸せば衣服の着脱ができる。 18 自分で衣服の着脱ができないのですべて介助を要する。		
<注>			
「ねたきり高齢者」の方については、以上の記述で終了			
項目番号19～33 該当項目に○を付けて ください	19 衣服等を糞尿で汚す。 20 場所をかまわず放尿、排便する。 21 糞尿をもてあそぶ。 22 タバコ等の火の不始末がある。 23 火を常にもてあそぶ。		
* 裏面に続く			

項目番号19～33
該当項目に○を付けて
ください

- 24 自分の衣服を裂き、破く。
- 25 自分の身体を傷つける。
- 26 自殺を図る。
- 27 家中をあてもなく歩きまわる。
- 28 屋外をあてもなく歩きまわる。
- 29 時には興奮し、騒ぎたてる。
- 30 しばしば興奮し、騒ぎたてる。
- 31 いつも興奮している。
- 32 乱暴なふるまいを行う。
- 33 他人に暴力をふるう。

認定を受けようとする者の同意に基づき、必要な関係書類（注2）を添えて、所得税法施行令（昭和40年政令第96号）第10条及び地方税法施行令（昭和25年政令第245号）第7条又は第7条の15の7に定める障害者・特別障害者としての認定を申請します。

令和 年 月 日

対象者・配偶者・税控除を受ける方が
申請者となります

(申請者) 住 所

氏 名

電 話 () -

認定を受けようとする者との続柄

呉市福祉事務所長 殿

認定にあたって、福祉事務所長が介護保険要介護認定等に係る資料を利用することに同意します。

(自署もしくは代筆)

対象者氏名

(代筆の場合)

代筆者氏名

対象者本人

※認定

該当・非該当

※

令和 年 月 日

※備考

(注) 1 ※の欄は記入しないでください。

R2.8

2 本市において、現在、要介護認定又は要支援認定を受けておられない場合は、医師の診断書（様式第2号）又は民生委員の意見書（様式第3号）のいずれかを添付してください。